

令和8年度都立赤羽北桜高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・国語で理解する基礎的な力の定着 ・主体的な言語活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・グループ活動、調べ学習、発表等、自ら考え、課題を解決していく活動を積極的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りを行い、身についた力を自覚できるようにし、一人一台端末を活用し、生徒の実態に合った課題を設定する。 ・授業に臨む準備や姿勢、自ら活動に取り組む態度を積極的に評価していく。 ・漢検受検や各種コンテストへの参加を積極的に促していく。
地理歴史・ 公民	<ul style="list-style-type: none"> 思考力・判断力・表現力を重視した指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
数学科	<ul style="list-style-type: none"> 概念や計算方法を確実に理解し、応用できるようにする。 家庭学習を促進し、基礎力を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自ら問題に取り組み、解決策を見つける力を養う。 思考力を要する問題に対して、解答までの手順を明確にし、ステップを適切に踏むことで解けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の内容をベースとして、より高度な数学的概念や問題に挑戦する機会を提供する。 ・生徒に対して定期的に課題を課し、家庭学習の習慣を身につけさせる。 ・課題の進捗状況を定期的に確認し、必要に応じてフィードバックを行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着 ・体験的な学習活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有し、重点課題について確認する。 ・基礎・基本の定着を図るとともに、観察・実験を効果的に行い、体験的な学習活動を充実させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の内容をベースとして、科学的な視点から思考・判断・表現するような課題を取り入れる ・各科の特性に合わせて、発展的な内容にも積極的に触れる。 ・観察・実験の考察結果をまとめるだけでなく、生徒同士が交流して思考を深められるような指導を行う

保健体育	健康の保持増進と体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。 ・グループ学習で自ら考え、課題解決していく活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運動技能を身につけ、運動する楽しさや喜びを味わえるようにし、グループ学習を通して課題解決や主体的な学び・コミュニケーション能力の向上を促していく。 ・授業に臨む準備や姿勢や主体的に取り組む態度を積極的に評価していく。
音楽	「技術力と表現力」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業で実技指導を行い技術力を身に付けられるよう実技練習を実施 ・学期ごとに実技発表を実施振り返り次回につなげるようワークシート記入を実施 ・定期的に確認テストを実施し、理解を深めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに実技発表を行い、お互いの演奏等を聴き合う。 ・人前で発表することに対して自信が持てるよう、毎回の授業で実技練習を実施 ・実技のみだけでなく、理論や歴史にもふれさせ、主体的に学習活動に取り組める授業を実施
美術	作品制作を通じ、自己尊重と他者理解を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサン・色彩構成・絵手紙 ・思い出の風景画・樹脂粘土による塑像・ペン画 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の完成度を上げるために研究し、アイデンティティのある作品が制作できるよう、個別に応じた援助と対応を行う。
書道	手書き文字の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・難しそう・堅苦しいなどのイメージを払拭し誰もが気軽に楽しめる文化として再発見させる。鑑賞などを通して奥深さを感じられる機会を与える。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑賞をし知識を深めた上で条幅への創作を実施。また、色紙という限定的なサイズでの創作を実施
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「基礎・基本」の学習 ・積極的に話す指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で、今年度の重点指導項目を確認する。 ・定期的に単語テストを実施し語彙力の向上を図る ・外国人講師と連携し、生徒が英語を話すことへの意欲を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な文法事項を習得しているかについて繰り返し確認するための授業を実施する。 ・考査を実施した後に、生徒の習得状況を考察し、その後の授業の改善に活かす。
家庭	「実践的・体験的」な活動を通じた家庭教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間授業計画について共有し、指導項目について確認 ・民間OB、大学講師等を招聘し、課題解決に向けた取り組みとプレゼンテーションの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種コンテストに挑戦 ・家庭技術検定に挑戦

<p>情報</p>	<p>他教科と連携を図り、様々な問題解決を図る力を身に付けさせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・探究活動の基礎・基本の定着を図る。 ・グループ活動、調べ学習、発表等、自ら考え、課題を解決していく活動を積極的に取り入れ、思考力・判断力、コミュニケーション力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングに関する外部教材を取り入れ、プログラミングスキルを身に付ける。 ・生成AIなどのコンテンツについて、文部科学省のガイドラインに沿って有用性や将来の職業に結び付けながら考える。 ・情報系検定試験への挑戦
<p>調理</p>	<p>調理師免許取得に向けた知識・技能の定着と、主体的・対話的で深い学びの実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間授業計画について共有するとともに指導項目について確認し、共通認識をもつ。 ・課題解決型の授業の充実と創造力・表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理師免許取得後のキャリア形成のための技術審査合格 ・文化祭等でのレストラン運営や手技披露 ・地域の食に関するイベントの出展 ・近隣企業でのインターシップの実施 ・地域企業へのレシピ提供 ・コンテスト、コンクールに挑戦
<p>福祉</p>	<p>介護福祉士国家資格取得と知識・判断力を培い、尊厳ある介護技術を身に付けさせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間授業計画について共有するとともに指導項目について確認し、記録に残す。 ・実習指導者・外部講師等と連携し、実践的な学習を展開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士国家試験対策講座 ・介護実習及び介護総合演習による実践力の養成 ・地域交流やボランティア活動 ・福祉検定及び各種コンクールにおける自己啓発